

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	七里ガ浜高等学校	課程・学科 教育部門・学部	普通科
-----	----------	------------------	-----

1 学校のミッション

全日制普通科の学校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、生きる力を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスのとれた人材育成をめざして教育活動に取り組んできたが、今後はさらに、自ら課題を発見し解決する力を育み、生徒の主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

また、平成28、29、30年度の3年間「授業力向上推進重点校」として研究開発に取り組む、その成果を地域の県立高校にさまざまな機会を設けて普及する。

2 学校教育目標

○確かな学力を身に付けさせ、健全な精神と身体を育成し、自主自立の精神を養うことにより、学力・体力・精神力豊かな人物の育成をめざす。

○学校生活をとおして社会生活の基礎を身に付けさせ、信頼と協調の精神を養い、社会性を育む。

○視野を広げる取り組みをとおして、豊かな教養を身に付け、総合的な判断力を養成する。

○生徒が、学校生活や自らの進路実現に主体的に取り組めるよう支援に努めるとともに、学校からの情報発信を積極的に行い、信頼される学校づくりを推進する。

3 計画作成時点での課題

○上級学校への進学者の中に目的意識の明確でない者が少なくない。進学者の40%を占める推薦による者の中には、早期決定を望んで安易に志望先を決定するケースが見られる。

○授業に主体的に取り組む姿勢が弱く、受け身の学習に満足している者も少なくない。また、与えられた学習内容への取り組みで満足してしまい、定期試験ごとに学習が完結している。

○姉妹校交流や海外修学旅行の意味づけが曖昧になってきており、実施の目的を明確にし、生徒への指導に生かす必要がある。

○モラルやマナーについて、生徒個々に意識を持たせ、一人ひとりが行動できるようにしていく必要がある。

○地域からの防災に係る連携協力の依頼もあり、学校防災に係る防災教育、防災用品、備蓄の整備、地域と連携した訓練の実施等を整備しなければならない。

○日々の業務を意識的に取り組む姿勢を持ち、事故防止につなげていく必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの確かな学力の向上を図り、進路実現に向けた支援を推進する。 ・自立に向けて、視野を広げ、豊かな人間性と社会性を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動やグループ学習等とおして、能動的な学習活動の推進。（ICTの利活用等） ・「授業力向上推進重点校」として、学力の定着と表現力・判断力・想像力の育成を図る授業実践。 ・読書活動や主権者教育を推進。 ・海外の高校との交流の推進。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・共に育ち合い、活力ある学校づくりに向けて、学校生活への主体的な取組みを推進する。 ・生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内外の様々な課題に対して、生徒が主体的に課題解決に向けて取り組めるよう支援や働きかけを行う。 ・支援を必要とする生徒への対応体制の一層の充実を図る。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を充実させ、目的意識を持って学習に取り組む姿勢を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生ガイダンスの内容を工夫する等、進路に対する目的意識を醸成する。 ・インターンシップ等の体験的な学習活動や英検、TEAP、漢検等への積極的な参加を促す。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域等の教育力の活用や地域等への貢献活動をおして、地域に信頼される学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動や地域貢献活動等が、生徒の主体的な取り組みとなるよう働きかけを行う。 ・防災教育の推進（地域等との合同訓練等） ・生徒の自立を促すための外部講師による講話やPTA等の外部団体との交流の推進。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な教育環境の整備に努める等、教育課題に対して積極的に取り組むとともに、学校の取組みの情報発信に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動等における安全対策。 ・交通安全意識の醸成。 ・生徒の学習環境の整備。 ・気にかかることについて時宜を得た注意喚起を行い、事故防止を徹底する。 ・生徒の活動の様子を積極的に広報する場を充実させる。